

大保鳥獣保護区
更新計画書

平成16年10月

沖縄県

1 指針

(1) 鳥獣保護区の名称

大保鳥獣保護区

(2) 鳥獣保護区の区域

大宜味村所在塩屋大橋の北端を起点とし、同所から海岸線を東進し国道331号線との交点に至り、同所から同国道を南東に進み大宜味村田港地区2号農道との交点に至り、同所から同農道を北東に進み田港地区3号農道との交点に至り、同所から同農道を北進し田港地区7-5号排水路との交点に至り、同所から同排水路、7-3号排水路、7-2排水路及び8号排水路に沿って進み大保川右岸との交点に至り、同所から同右岸を東進し大工又橋との交点に至り、同所から南進し国道331号線との交点に至り、同所から西進し田港地区23号排水路との交点に至り、同所から同排水路及び22号排水路に沿って進み国道331号線との交点に至り、同所から同国道を西進し田港地区20-3号排水路との交点に至り、同所から同排水路及び18号排水路に沿って進み江州一般農道との交点に至り、同所から同農道を南西に進み田港地区12号農道との交点に至り、同所から同農道を北進し県道9号線との交点に至り、同所から同県道を西に進み国道58号線との交点に至り、同所から同国道を北進し起点に至る線で囲まれた区域。

(3) 鳥獣保護区の存続期間

平成16年11月1日から平成36年10月31日（20年間）

(4) 鳥獣保護区の保護に関する指針

①鳥獣保護区の指定区分

森林鳥獣生息地の保護区

②鳥獣保護区の指定目的

当該区域は、塩屋湾沿岸や大保川沿いの斜面林において、カラスバト、フクロウ類、カラ類、リュウキュウイノシシなど森林に生息する種、サギ類、ミサゴ、カワセミなどの水辺に生息する種、セッカ、シロガシラ、イソヒヨドリ、カラバト（ドバト）、スズメなど耕作地や集落周辺に生息する種など多数の種が生息し、鳥類相の多様性も高く、また冬鳥など渡り鳥の割合が高く、渡り鳥の中継・休息地となっている。

また、沖縄島北部地域固有のホントウアカヒゲ、リュウキュウヤマガメ、ナミエガエルなどの生息分布の南限にあたり、沖縄島北部地域の森林鳥獣分布域維持のため、大保周辺における森林鳥獣の保護は重要である。

このように、当該区域は森林鳥獣、水辺に生息する鳥獣など多様な鳥獣が生息することから、当該区域を森林鳥獣生息地の保護区として、鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律第28条に規定する鳥獣保護区に指定し、当該区域に生息する森林鳥獣の保護を図る。

2 更新の理由

塩屋湾沿岸や大保川沿いの斜面林において、ホントウアカヒゲ、リュウキュウヤマガメ、ナミエガエルなどの沖縄島北部地域固有の動物、リュウキュウイノシシ、リュウキュウツミ、カラスバト、リュウキュウオオコノハズクなど森林鳥獣が生息している。

ホントウアカヒゲ、リュウキュウヤマガメ、ナミエガエルの個体群は、これらの生息分布の南限にあたり、沖縄島北部地域の森林鳥獣分布域維持のため大保周辺における森林鳥獣の保護は重要であり、また当該区域は森林鳥獣、水辺に生息する鳥獣など多様な鳥獣が生息することから、鳥獣保護区の存続期間の更新を行い、その保全を図る。

3 更新する鳥獣保護区の土地の地目別面積及び水面の面積 別紙のとおり

4 更新する区域における鳥獣の生息状況

(1) 当該地域の概要

当該地域は大宜味村に所在し、鳥獣保護区の面積は240haで、このうち175haが水面となっており、大保大川の河口と塩屋湾が含まれ、県道9号線と国道331号に囲まれている。湾岸には、塩屋、屋古、田港、大保、白浜、宮城などの集落が点在している。海水面、干潟、マングローブ林、河川下流域、耕作地、集落、樹林などがあり、環境は比較的多様である。干潟は大保大橋付近から県道9号線沿いに、干潮時にのみ干出する。

(2) 生息する鳥獣類

別表のとおり

(3) 当該地域の農林水産物の被害状況

有害鳥獣の実績なし

5 鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律第32条の規定による補償に関する事項

当該鳥獣保護区内に鳥獣の生息及び繁殖に必要な施設を設置することにより、被害を受けた者に対しては、通常生ずべき損失を補償する。

6 鳥獣保護区の維持管理に関する事項

①鳥獣保護区用制札	4本
②案内板	1基
③給水器	基
④給餌台	基
⑤巣箱	台
⑥その他	

(必要に応じ設置)

(別表)

ア 鳥類

サギ類、ミサゴ、クイナ類、シギ・チドリ類など水辺を好む種、リュウキュウツミ、カラスバト、フクロウ類、ホントウアカヒゲなど森林を好む種、イソヒヨドリ、カワラバト(ドバト)、スズメなど集落を好む種、ハクセキレイ、ノゴマ、セッカなど平地の藪や耕作地周辺を好む種など、9目24科57種の多様な種の生息が確認された。(調査期間 平成15年9月～16年3月)

目	科	種	夏季①	夏季②	秋季①	秋季②	冬季①	冬季②	春季①	春季②
コウノトリ目	サギ科	リュウキュウヨシゴイ	●	●		●				
		ゴイサギ	●	●	●	●		●		
		ササゴイ			●		●	●		
		アカガシラサギ	●							
		アマサギ	●	●	●				●	
		ダイサギ	●	●	●	●	●	●	●	●
		チュウサギ	●	●	●	●	●			
		コサギ	●	●	●		●			
		クロサギ	●	●	●	●	●	●	●	●
		アオサギ	●	●	●	●	●	●	●	●
タカ目	タカ科	ミサゴ	●	●	●	●	●	●	●	●
		リュウキュウツミ		●						
	サシバ			●	●	●	●	●	●	
	ハヤブサ科	ハヤブサ			●					
		チョウゲンボウ			●					
ツル目	クイナ科	シロハラクイナ	●	●	●	●	●		●	●
		バン	●	●	●	●	●	●	●	●
チドリ目	チドリ科	コチドリ	●	●						
		アオアシシギ	●	●						
	シギ科	キアシシギ	●	●						
		イソシギ	●	●	●		●	●	●	●
		ヤマシギ				●				
		タシギ				●				
カモメ科	エリグロアジサシ	●								
ハト目	ハト科	カラスバト	●	●		●	●			
		キジバト	●	●	●	●	●	●	●	●
		ズアカアオバト	●	●					●	●
		カワラバト	●	●	●	●	●	●	●	●
フクロウ目	フクロウ科	リュウキュウコノハズク		●	●	●	●			
		リュウキュウオオコノハズク		●	●	●	●			
		リュウキュウアオバズク	●	●	●	●	●			
ブッポウソウ目	カワセミ科	リュウキュウアカショウビン	●	●						
		カワセミ	●	●	●	●	●		●	●
キツツキ目	キツツキ科	コケラ	●	●	●	●	●	●	●	
スズメ目	ツバメ科	ツバメ	●	●						
		リュウキュウツバメ	●	●	●	●	●	●	●	●
		コシアカツバメ			●					
	セキレイ科	キセキレイ		●	●	●	●	●	●	●
		ハクセキレイ			●				●	●
	サンショウクイ科	リュウキュウサンショウクイ	●	●	●	●	●	●	●	●
	ヒヨドリ科	シロガシラ	●	●	●	●	●	●	●	●
		ヒヨドリ	●	●	●	●	●	●	●	●
	ツグミ科	ホントウアカヒゲ	●	●		●				●
		ノゴマ				●				
		イソヒヨドリ	●	●	●	●	●	●	●	●
		シロハラ				●	●	●	●	●
	ウグイス科	ウグイス	●	●	●	●	●	●	●	●
		キマユムシクイ				●				
		セッカ	●	●	●	●	●	●	●	●
		ムシクイ類の一種			●					
	カササギヒタキ科	リュウキュウサンコウチョウ	●							
	シジュウカラ科	アマミヤマガラ		●				●		
		シジュウカラ	●	●	●	●	●	●	●	●
	メジロ科	メジロ	●	●	●	●	●	●	●	●
	ホオジロ科	アオジ				●	●	●	●	●
		ホオジロ属の一種				●				
	ハタオリドリ科	スズメ	●	●	●					●
カエデチョウ科	コシジロキンバラ	●	●							
カラス科	ハシブトガラス	●	●	●	●	●	●	●	●	
9目24科57種			39種	42種	37種	37種	34種	26種	28種	28種

大保鳥獣保護区で重要な種の鳥類は16種が確認された。

抽出された重要種	重要種の該当カテゴリー				渡りの区分
	天然記念物	種保	沖縄県RDB	環境省RDB	
リュウキュウヨシゴイ			希少種		留鳥
チュウサギ			希少種	準絶滅危惧	冬鳥
ミサゴ			危急種	準絶滅危惧	冬鳥
リュウキュウツミ			希少種	絶滅危惧Ⅱ類	留鳥
ハヤブサ		国内希少	危急種	絶滅危惧Ⅱ類	冬鳥
エリグロアジサシ			希少種	準絶滅危惧	夏鳥
カラスバト	国指定		危急種	準絶滅危惧	留鳥
リュウキュウコノハズク			希少種		留鳥
リュウキュウオオコノハズク			危急種	絶滅危惧Ⅱ類	留鳥
リュウキュウアオバズク			未決定種		留鳥
リュウキュウアカシヨウビン			未決定種		夏鳥
カワセミ			希少種		留鳥
リュウキュウサンショウクイ			希少種		留鳥
ホントウアカヒゲ	国指定	国内希少	危急種	絶滅危惧Ⅱ類	留鳥
リュウキュウサンコウチョウ			未決定種		夏鳥
アマミヤマガラ			希少種		留鳥
16種					

イ 哺乳類

大保鳥獣保護区では、5目8科10種の哺乳類が確認された。

オリオオコウモリ、オキナワコキクガシラコウモリ、リュウキュウイノシシなど森林及び林縁部を好む哺乳類の他、ワタセジネズミ、ジャコウネズミ、オキナワハツカネズミなど草地を好む種も確認された。

外来種のジャワマンゲースは比較的高密度で生息しているものと考えられる。

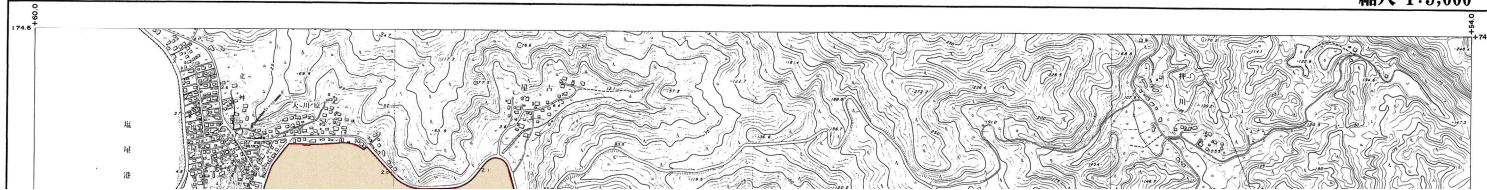
目	科	種	夏季①	夏季②	秋季①	秋季②	冬季①	冬季②	春季①	春季②
モグラ目	トガリネズミ科	ワタセジネズミ	●		●		●			
		リュウキュウジャコウネズミ		●	●					
コウモリ目	オオコウモリ科	オリオオコウモリ	●	●	●	●				
	キクガシラコウモリ科	オキナワコキクガシラコウモリ	●		●					
ネズミ目	ネズミ科	クマネズミ	●	●	●	●	●		●	●
		オキナワハツカネズミ		●						
ネコ目	イヌ科	イヌ		●	●					
	ジャコウネコ科	ジャワマンゲース	●	●	●	●	●		●	
	ネコ科	ネコ	●	●	●	●	●	●		
ウシ目	イノシシ科	リュウキュウイノシシ	●	●						
5目8科10種			7種	8種	7種	4種	4種	1種	2種	1種

大保鳥獣保護区で重要な種の哺乳類は6種が確認された。

抽出された重要種	重要種の該当カテゴリー		
	天然記念物	沖縄県RDB	環境省RDB
ワタセジネズミ		希少種	準絶滅危惧
ジャコウネズミ		未決定種	
オリオオコウモリ		未決定種	
オキナワコキクガシラコウモリ	名護市指定	危急種	絶滅危惧IB類
オキナワハツカネズミ		希少種	
リュウキュウイノシシ		未決定種	
6種			

F 大 保 鳥 獸保護区

縮尺 1:5,000



資料の正確性を保証
 していません。ご了承ください。



凡 例	Index
 鳥 獣 保 護 区	Wildlife Protection Area
 特 別 保 護 地 区	Special Protection Area